



去る2月27日、ハリウッドにあるジャパン・ハウス ロサンゼルスにて、「The JBA 58th Anniversary Reception」を開催。要人やJBA会員企業など総勢119名が集まる、華やかな会となった(詳細はp.2-3)。

- 2-3 「The JBA 58th Anniversary Reception」を開催
- 4-5 第217回JBAビジネスセミナー報告
「顧客情報漏えい等のサイバー犯罪に於ける企業損害リスクと対応策」
- 6-7 「バイリンガル教育セミナー 2019」報告
- 8-9 ミキサー (異業種交流会) 報告
- 10-11 各部会からのお知らせ
- 12 4月・5月のJBAイベントカレンダー

<http://www.jba.org>

1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

商工部会

「The JBA 58th Anniversary Reception」を開催

去る2月27日、ハリウッドにあるジャパン・ハウス ロサンゼルスサロンにて、「The JBA 58th Anniversary Reception」を開催した。当日は総領事やJBA会長、トーランス市長などの要人に加え、多くのJBA会員企業メンバーが出席。総勢119名が集まる、非常に華やかな会となった。

※JBA役員の名前は、2019年3月13日現在のもの。

日米の強固な関係が感じられた 主賓からの挨拶

毎年、JBAの創立を記念して行っている本イベント。ここ数年は在ロサンゼルス日本国総領事公邸を会場に使用していたが、今年は趣を変え、ジャパン・ハウス ロサンゼルスで開催した。午後6時半、司会を務める三菱UFJ銀行ロスアンゼルス支店長の中城英喜JBA副会長・商工部会長による開会の挨拶で会は始まった。

まず挨拶をしたのが、大川智JBA会長。「JBAは南カリフォルニアと日本人コミュニティの相互理解を深め、同地の多くの分野におけるビジネス、人の交流を促進することに強くコミットしています。地域社会の支援と協力なしに我々が繁栄することは不可能であり、今後、関係をさらに深めていくことが重要だと考えます」と話した。また、「WTCLA（世界貿易センター機構ロサンゼルス）のレポートによると、日系企業は当地で約8万5000もの直接雇用を生み出しており、これは我々と地域社会にとつ

てWin-Winの関係と言えるでしょう。ちなみに、私が勤める住友商事のフィロソフィーに「自利利他公私」という言葉があります。これは『自分一人が儲けてもしょうがなく、皆で利益を分かち合うことが大事』という意味であり、この考えを互いが持つこそ、はじめて本当のWin-Winが成立すると思っています」と語り、挨拶を終えた。

続いて登壇したのは、千葉明在ロサンゼルス日本国総領事。「58年前、JBAは48社の企業によってスタートしましたが、今では約500もの会員企業から成る大きな組織へと成長しました。そしてその間に日本の企業は南カリフォルニアにおいて雇用主として、また善良な市民として、大きな役割を果たしてきました。日本の航空会社は60年前、LAXからアジアへの初めての旅客便を運行しました。また、日本の企業はジョイントリサーチ、バイオテック、医薬品などさまざまな分野においてアメリカの企

業とも協力し合いながら、当地における経済を活性化させてきたのです」と、日本企業の長年における活躍を強調した。

次に、Chief Executive Officer of Los Angeles Countyのサチ・ハマイさんが挨拶。「JBAの58年の成功は、ロサンゼルス郡にとっても大きな成功です。日系企業は当地において本当に重要な役割を果たしていますし、JBAは学校への教育支援サービス提供、ビーチ清掃、二世ウィーク支援、LAマラソンボランティアなど、地域社会においてさまざまな活動に関わられています。本当にありがとうございます。また、JBAは毎年カリフォルニア州との関係強化を目的にサクラメントを訪問されていますが、ぜひ、今後は我々とも強いパートナーシップを結び、当地域のさまざまな問題について話し合っていけたらと思います」と話した。

続いて、パトリック・ヒューレイ・トーランス市長が登壇。トーランスには250以上



上段の左から大川智JBA会長、千葉明在ロサンゼルス日本国総領事、Chief Executive Officer of Los Angeles Countyのサチ・ハマイさん、下段の左から、パトリック・ヒューレイ・トーランス市長、Board Chair of Los Angeles Area Chamber of Commerceのジェリー・ニューマンさん、President & CEO of the Hollywood Chamber of Commerceのラナ・ガドバンさん。

極上の和食、いせしま。

Ise-Shima
at the MIYAKO

都ハイブリッドホテル1階
(310) 320-6700
www.ise-shima.us

トーランスとダウンタウン 都ホテルは2つのチョイス。

MIYAKO
HYBRID
HOTEL

都ハイブリッドホテル トーランス・カリフォルニア
21381 S. Western Avenue, Torrance, CA 90501
Phone: (310) 212-5111 Fax: (310) 212-5112
www.miyakohybridhotel.com

MIYAKO
HOTEL
LOS ANGELES

都ホテル ロサンゼルス
328 E. First Street, Los Angeles, CA 90012
Phone: (213) 617-2000 Fax: (213) 617-2700
www.miyakohotel.com

ご宿泊はJBA会員企業特別料金をご利用頂けます。詳細は各ホテルへ直接お問い合わせください。



ジャパン・ハウス ロサンゼルスの魅力の説明した、同館の海部優子館長。



軽妙な司会で会場を盛り上げた、中城英喜 JBA 副会長・商工会会長。



恒例の鏡開きは2組に分かれて元気よく行われた。

の日系企業の本社があり、多くの日本人、さらにはアジア人が住んでいることを挙げ、同地はこの多様性を心から楽しんでいると話した。また、「昨年(2018年)の10月、トランス市と千葉県柏市との姉妹都市関係45周年を祝うため、日本を訪れました。我々は互いの学校の生徒たちを送り合い、関係を深めてきましたが、本当に素晴らしい取り組みだと思っています」と、日本との関係の強さを強調した。

ジャパン・ハウスの紹介、そして鏡開き、歓談の時間に

次に、Board Chair of Los Angeles Area Chamber of Commerce のジェリー・ニューマンさんが挨拶。「Los Angeles Area Chamber of Commerce (ロサンゼルス商工会議所)は今年で設立131周年を迎えましたが、中でもJBAとの関係は非常に特別なもの」と話し、「JBAとの関係を強化していくことはBoard Chairとしての私の重要な任務であり、共により良いロサンゼルス、南カリフォルニア、そしてアメリカを創造していきたいです」と両団体のますますの関係強化を呼びかけた。

最後に登壇したのは、President & CEO of the Hollywood Chamber of Commerce のラナ・ガドバンさん。

「Hollywood Chamber of Commerce (ハリウッド商工会議所)は100年近くの間、ハリウッドをより良い場所にすべく、多くの地元団体と協力してきました。私はまだ2カ月前に現職に就いたばかりですが、これからJBAをはじめとする団体やビジネスコミュニティと緊密な関係を維持し、共に働いていきたいです」と語った。

次に、ジャパン・ハウスの海部優子館長が、同館に関する紹介をした。同館が外務省の事業として作られた施設であり、日本のアートやデザイン、テクノロジー等の紹介を通してアメリカにおける日本への理解を深める目的があることを話した。また、当日の食事を用意した同館の日本食レストラン「隠庵」の小野寺盛浩シェフから食事に関しての説明も行われた。

海部館長、小野寺シェフの話が終わると、総領事や会長、挨拶を行った主賓らが壇上に立ち、法被を着用して鏡開きを行った。そして、会場に日本酒が配られると米日カウンシルの役員トム・イノさんがマイクを取り、「このユニークで特別な時間と、今後長年にわたるJBAのますますの発展に、乾杯!」と、乾杯の音頭を取った。

その後は歓談の時間に。参加者らはにぎり寿司や和牛のステーキ等に舌鼓を打ちながら、思い思いに親睦を深め合った。



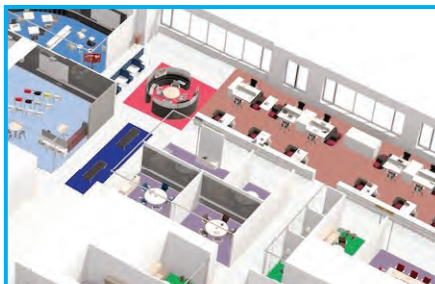
日米両国のコミュニティから集まった参加者たちは、大いに歓談を楽しんだ。



会場に華やかさを添えた2018 Nisei Week Queen & Courtの皆さん。



ジャパン・ハウスの本格日本食レストラン「隠庵」による、豪華な食事大好評を博した。



オフィスの移転・改装は「オフィス設計」

- 設計・レイアウトデザイン
- 各種内装工事
- オフィス家具
- 電話・LAN・セキュリティー
- 引越・移転作業
- プロジェクトマネジメント
- コストマネジメント



Office Sekkei America, Inc.

(310) 715-1001 la@officesekkei.com
www.officesekkei.com/us

「顧客情報漏えい等のサイバー犯罪に於ける企業損害リスクと対応策」

去る3月7日、トーランスのMiyako Hybrid Hotelで第217回JBAセミナーが開催された。セミナーは2部構成で、「サイバー犯罪入門」の講師はネクストグループ代表、足立照嘉さんが、「サイバーリスクと保険」の講師はWillis Towers Watsonの城戸直樹さんがそれぞれ務めた。

【講師】

足立照嘉さん

株式会社ネクストグループ代表。サイバーセキュリティ専門家。2004年千葉大学大学院電子工学研究室在学中に同社を設立して以降、ニューヨーク、ロンドン、シンガポールを拠点に事業を展開。著書に『サイバー犯罪入門 国もマネーも乗っ取られる衝撃の現実(幻冬舎刊)』など。

【講師】

城戸直樹さん

大手金融機関保険部門を経て、2003年、Willis Towers Watson (WTW)に入社。14年、ロンドン本社よりWTW NYに異動。サイバーリスク保険を含む損害保険一般に精通し、現在、米国Japan Global Practice Group of the National Sales Leader。



サイバー攻撃に対してはリスクの最小化が重要

サイバーセキュリティの専門家であり、サイバー犯罪対策関連書籍の執筆者としても知られる足立さんは、「サイバー攻撃の問題は起こる前提で、リスクの最小化と迅速な対応を。そのためには決してIT部門だけの対応に終わらず、技術的対応と共に組織的な対応が不可欠です」と呼びかけた。

冒頭では、2019年2月に顕在化した電動キックスケーターの脆弱性に関する一件を紹介。「電動キックスケーターをスマホからのリモート操作で急発進、急停止できることをセキュリティ会社が発見し、メーカーに伝えたところ、メーカーは『認識していたが、システム開発を外注しているため直すことができない』と回答したのです」。この一件が教えてくれたのは、今や、自社で気を付けていても取引先から容易にリスクが持ち込まれ得るという点だ。「最近、サイバー犯罪はビジネスになっています。情報を盗む側は費用対効果を見込むために、利益を大きくするため、より楽な入り口を見つけようとします。フィッシングメールがなくなっているのは、正面から突破するよりも人の脆弱性をつく方が簡単だからなのです」。

近年、企業の業務を停止してしまうほどの大規模なトラブルが頻発している。PCがウィルスに感染することでファイルが開かなくなるランサムウェアは、その代表的な手口。仕掛けた側は感染を解くための身代金(ランサム)を要求してくる。「欧州の某海運会社は、ランサムウェアの一種である『not petya』を仕掛けられ、4万5000台のパソコンが感染しました。その間、社員は8割の業務を手作業で対応。トップは身代金支払いには応じなかったものの、IT部門が10日かけてシステムを復旧させました。復旧までの機会損失は数百億円に相当するとされています」。

足立さんは、身代金要求に決して応じてはいけないと強調した。「この種の犯罪はマフィア、テロリスト、麻薬カルテルといった反社会勢力が手がける新規事業でもあります。これらに対して金銭を与えるということは、企業にとってコンプライアンス面での問題も生じてきます。身代金に依るべきではないもう一つの理由は、暗号化の技術は取り扱いが難しいという点。結果的に、使いこなせない作成者によるランサムウェアの場合、身代金を払ったにもかかわらず、ファイルが開かないという事態が世界中で起こっているのです」。

最近ハッカーが低年齢化している。「中学3年生が作ったランサムウェアのソースコードを見る機会がありました。ソースコードはたったの25行でできていました。つまり、25行のプログラムで大人を困らせていたのです。ファイルを暗号化する方法はインターネット上に掲載されていました。また、動画共有サイトにもサイバー犯罪の手口が紹介されており、低コスト、低スキルでサイ

バー犯罪に参入できます」。また、ATMにUSBを差し込むことで手軽に金を抜き出す犯罪が、タイやメキシコで発生、最近ではアメリカでも増え始めている。この手法に関しても、「YouTube」で操作マニュアルが紹介されていたということだ。

欧州の個人情報保護法「GDPR」のアメリカ版に近い将来できる!?

ここで足立さんからクイズが出された。「私の友人であるセキュリティ専門家は、あるものをスマホから盗めるアプリを開発しました。一体、それは何を盗めるアプリでしょうか」。これに対し、会場で指名された人々の答えはミサイル、人工衛星、車だったが、この中に正解はなかった。正解は「航空機」。「航空機のシステムに侵入できるアプリです。侵入に成功すると自動操縦の画面で、飛行高度をゼロフィートに設定することもできます。すると飛行機は墜落します。また、飛行機を乗っ取ることができます。しかし、彼は決してテロリストの仲間というわけではなく、航空機会社にコンサルタントして雇ってもらうことを目的に、このアプリを作ったのです」。このことが証明するのは、サイバー犯罪はデータを盗み出すだけでなく、現実の世界に対しても直接的なダメージを与えることができるということだ。

さらに最近、欧州で最も検索されているワードに「GDPR」がある。これは欧州経済に加盟している国に適用される個人情報保護に関する法律で、2019年1月、GoogleがこのGDPRに違反したとして5000万ユーロ(約62億円)の制裁金の支払いをフランス当局から命じられた。個人情報の利用目的がユーザーに明確に説明されなくてはならないという規定を満たしていなかった点、ユーザーから利用規約への同意を取る方法が不適切だったとされる点が、その違反事由だった。ユーザー個人のデータが侵害されている場合も、個人が侵害している相手に対して訴えを起こす権利が認められているため、2018年5月にGDPRが施行されてから8カ月間で、Googleに対しては9万5180件の苦情申し立てが発生した。「1995年にEUダイレクティブが生まれました。これは、個人情報保護に関する指令。その後、2003年には日本で個人情報保護法ができました。そして、今回のGDPR。GDPRのRは、レギュレーション、つまり規則です。指令よりも規則の方が優先されるため、国ごとに異なる法律は、GDPRに合わせなければいけ

なくなりました」。ただし、GDPRの条文に具体的なセキュリティ対策は書かれていない。

近い将来、アメリカ版GDPRが登場することが予測されている。現時点では、個人情報保護違反に対して、アメリカでは制裁金を課すことができていないのが実情だ。これは、FTC（連邦取引委員会）の権限が弱すぎるのが一因でもある。「現在、FTCに権限を与えて取り締まっています。尚、カリフォルニアでは2020年からCCPA（カリフォルニア州消費者個人情報保護法）が施行されます。CCPAの規制対象となる企業の条件の一つに、5万件以上の個人情報を処理しているという点がありますが、もし10万人の個人情報が漏えいした場合の制裁金はGoogleのフランス当局からの制裁金に等しい額になってきます。しかも、カリフォルニアには10万人程度の消費者向けのサービスを普通に行っている企業が多数存在します」。

今後、CCPAの規制に対しても、カリフォルニアでビジネスを運営している企業としては十分な注意が必要となってくる。足立さんは最後に、企業が心がけるべきサイバーリスク管理について次のように締めくくった。「脅威は日々進化しており、取引先を経由してやってくることも知るべきです。今、現場や法律上では、サイバー攻撃は起こる前提となっています。そのために必要な技術的対応と組織的対応を取ることが重要であり、現在進行形で変化しているレギュレーションを常に意識すべきです」。

拡大傾向のサイバーリスク保険 その現状と今後の展望

続いて「サイバーリスクと保険」というテーマで、企業としてどのようなリスク管理対策

を保険を通じて行えるかについて、城戸さんが説明した。まず、「日本企業から見たサイバーリスクのイメージは、サイバー攻撃に遭って個人情報が漏洩、それに対して賠償金を支払わなければならない。つまり、賠償金の支払いが企業の損失であるということです。しかし、企業が直面するのはこのような個人情報漏えいのリスクだけではありません」と城戸さんは警鐘を鳴らした。

消費者の個人情報だけでなく、数百名、数千名、数万名の規模の従業員の住所、氏名、ソーシャルセキュリティ番号が家族の分も含めて漏れてしまう。さらに事業中断による利益損害、問題の原因を究明する調査費用と復旧費用、企業秘密である知的財産情報の漏えい、物的損害、身代金、取引先の製造ラインを止めてしまう可能性があるデジタルサプライチェーンリスクなど、B to B ビジネスには非常に多くのサイバーリスクが存在する。また、サイバー事故・保険請求につながる要因の実に66%が、「従業員の過失・内部不正」である。この点について城戸さんは「職場環境の整備がリスク軽減につながります。アメリカは中途採用が多いこともあり、正しい人材採用と新人教育、また法令遵守の徹底と継続教育が鍵になってきます」と語った。

サイバーリスク管理に対する最近の考え方としては、事故発生を前提として対策を講じること、経営陣がリスクを認識した上で監視と検証を行うこと、また海外子会社・支店も含めて全社で管理すること、などが重要とされていると城戸さんは話した。これらのリスクに対して10～15年前からサイバーリスク保険が売り出されるようになった。「2017年の数字では、全世界の収入保険料の総額がおよそ3000億円。これが20年には8000億円まで拡大していくだろうと予測されています」。マーケット動向と



企業にとっては今後ますます対策が求められるテーマだけに、参加者は熱心に耳を傾けていた。

しては、保険カバー内容拡大傾向、保険事故拡大傾向、保険料及び免責額選別化傾向が見られるということだ。サイバーリスク保険には、賠償責任に対する補償、企業情報漏えい賠償責任、第三者への賠償責任など包括的に賠償責任リスクをカバーし、調査費用、課徴金補償、事業中断による不稼働損失、財物損害に対する補償、危機管理のためのPR費用、フォレンジック（犯罪捜査の分析）費用、復元費用まで含まれる。ただし、事故の内容によっては、保険がカバーしないエリアもあるので注意が必要だ。

自社のリスクの評価を行うには、保険会社が判断材料にする次のような項目が参考になる。企業規模、個人情報をどれだけ持っているか、保有しているデータをどのように保護し、誰にアクセス権限を与えているか、定期的なテストの実施、従業員への研修体制、問題が発生した時にどれだけ素早く探知できる体制が整っているか、災害復旧計画が作成されているか、過去の事故の発生状況、など。以上がしっかりと管理されている企業とそうでない企業では、サイバーリスク保険の保険金額に相当な差が出てくるとのことだ。リスク軽減の環境整備の重要性を強調し、城戸さんはセミナーを締めくくった。

事務職は勤務時間の20%をかけて「情報」を探している。

年収\$50,000の社員であれば、
「あのファイル、あのEメール、どこいった」
に毎年\$10,000!

ファイルとメールが中心の業務、
そろそろやめませんか。

 kintone

<https://www.kintone.com/jp>

「バイリンガル教育 セミナー 2019」報告

去る2月9日、「バイリンガル教育セミナー 2019」を開催した。講師は、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校の片岡裕子名誉教授、ダグラス昌子教授、知念聖美准教授。未就学児の言語発達および、バイリンガルの定義、学習言語の変化に伴う弊害、そして子どもの負担とストレスなど、バイリンガルに関する最新情報を解説した。

【講師】

片岡裕子名誉教授 Ph.D.
イリノイ大学卒。カリフォルニア州立大学ロングビーチ校アジア・アジアアメリカン研究学部日本語学科 Professor for the Japanese Program; Emeritus Faculty。



【講師】

ダグラス昌子教授 Ph.D.
南カリフォルニア大学卒。カリフォルニア州立大学ロングビーチ校アジア・アジアアメリカン研究学部日本語学科 Professor and Coordinator for the Japanese Program。



【講師】

知念聖美准教授 Ph.D.
カーネギーメロン大学卒。カリフォルニア州立大学ロングビーチ校アジア・アジアアメリカン研究学部日本語学科 Associate Professor and Adviser for the Japanese program。



発達過程などから見る バイリンガルの種類

バイリンガルとは、日本語や英語など、2つの言語を使い分けできる能力のこと。知的発達と関係するため、第1言語が確立・完成している大人と、第1言語も第2言語も発達中の子どもでは、問題点やストレス、負担の度合いは変わってくるという。

知念教授は、バイリンガル教育の第一人者である中島和子氏の著書を基に、バイリンガルの中には「発達過程」「2つの言語の到達度」「4つの技能」の3つがあると説明。「発達過程」から見たバイリンガルの種類には、小さい時から家庭などで2つの言語に触れて育つ「同時発達」と、まず最初に第1言語が入って、その後に第2言語が入る「継起発達」がある。「2つの言語の到達度」から見た場合は、同年齢のネイティブスピーカーと同じぐらい両言語ができる「プロフィシエント・バイリンガル」、2つの言語のうち1つの言語が年齢相応にできる「パーシャル・バイリンガル」、そして2つの言語のいずれも年齢相応でない「リミテッド・バイリンガル」がある。そして「4つの技能（聞く、話す、読む、書く）」から見たバイリンガルは、「聴解型」「会話型」「読み書き型」に分けられる。「聴解型」とは、聞くのは2つの言語でできるけれど、話す・読む・書くは1つの言語のみ。親が日本語で話しかけているのに、子どもが英語で返すケースは、これに当たります。また「会話型」は、聞く・話すは2つの言語、けれど読む・書くは1つの言語。そして「読み書き型」は聞く、話す、読む、書くの全てを2つの言語でできることです。

このように、バイリンガルと言ってもその種類は多岐にわたり、特に第1言語も第2言語もまだ発達中の子どもの場合は、年齢や渡米時期、性格などを考慮し、長い

目で見る必要がある。「親御さんに知っていただきたい」は、全ての子どもが『プロフィシエント・バイリンガル』になれるわけではないということ。そもそも個人差が大きく、バイリンガルに育てるための正解やマニュアルもないので、子どもの性格、年齢、興味や能力に合った教育を選んでください。子どもが幼稚園に入る前になると、『これまでは日本語だけだったが、そろそろ英語の勉強が必要だから家でも英語を使った方がいいのか』という質問を親御さんから頂くことがあります。現地校に入れば英語が強くなるので、母語である日本語を育てるために、家庭での使用言語はなるべく日本語にしてください」と知念教授。そして、子どものバイリンガル教育は長い目で見ること、バイリンガルは考える力（認知面）と大きく関わるため、言葉だけでなく知的発達を考慮すること、さらに成長すると、バイリンガルという大きなフレームの中に文化的要素も含まれてくるため、日本の文化や習慣において適切な対応ができるようにすることを念頭に置くように、と話した。

基礎とハイレベル言語力 背骨となる言語を確立

次に、ダグラス教授が言語力について解説。言語力には、映画を観たり、友達と話したり、買い物をしたりなど日常生活を送るための基礎言語力と、社会問題について論議したり、小論文を書いたりなどができるハイレベル言語力の2つがある。ハイレベル言語力は、言語に加え、教育レベル、社会経験、知識、スキル、職業などによって、ネイティブスピーカーでもかなりばらつきがあるという。「これまでの研究で、基礎言語力は2～3年で身に付くことが分かっています。ではハイレベル言語力はどうでしょうか。アメリカのトマス氏とコリア氏の研究



FDA・各種規制対応

- ・FDAコンサルティング(食品、化粧品、薬品、医療機器、福祉機器、放射線、動物)
- ・EPAコンサルティング(TSCAレポーティング、ペスティサイド登録など)
- ・UL, CE, VOC, AAFCO他各種登録

米国進出事業企画

市場調査、販売ネットワーク構築、日米間M&A、合併事業、米国撤退業務引継ぎ、事務所貸出



Phone: (310) 538-3860 email: info@globizz.net

お問い合わせは宮尾迄。

1411 W. 190th St. Suite 200, Gardena, CA 90248, U.S.A.

(株) グロービッツ www.globizz.net

ロサンゼルス・サンフランシスコ・東京・大阪・神戸

で、70万人のESLの生徒（英語を母語としない子ども）を14年間にわたり調査したところ、母語で2～3年間の学校教育を受けた子どもは4～7年でネイティブスピーカーに追いつくのにに対し、母語で教育を受けていない子どもは、在米年数が長くてもネイティブ・スピーカーに追いつくのに7～10年かかるという結果が出ました。気を付けたいのは、基礎言語力は2～3年で付くため、子どもが日常生活で英語を話すようになると、親御さんは子どもの英語力が付いたかと思ってしまうこと。しかし、ハイレベル言語には到底及んでおらず、実は子どもが学校の勉強で苦しんでいるのに、親御さんが全く気づかないことがあるのです。

ダグラス教授によると、ハイレベル言語力習得の鍵となるのは、“背骨の言語”。“背骨の言語”とは、算数の問題を解いたり、自分の考えを文章にしたり、理科の実験をしたりなど、考えるときに使う言語のこと。これがあると、他言語でのハイレベル言語力習得も早いのだという。「言葉の発達を木に例えると、日本で生まれた子どもは、日本語で根を張り枝葉を広げていきます。小学校3年ぐらいになると木の幹も大きくなっていくので、渡米後にこの日本語の木に英語の接木をすると、うまくつながって伸びていくのです」。どこまで英語力を伸ばすかは家庭の事情によって変わってくるが、短期滞在なら、日本の学校制度に軟着陸することを目指して、在米中も補習校や塾、通信教育などで日本語力を継続して伸ばすことが大事。長期滞在なら、アメリカの高校や大学に進学するためにSATなどへの準備をする。どちらもアメリカにきた当初は英語が分からないので、学科の理解を深めるために日本語も英語もできて、かつアメリカの学校に行き、土曜の日本語学校の経験もある、継承日本語話者を家庭

教師に付けることを検討するのも良いという。「ちなみに、前述の調査によれば、“背骨の言語”から英語の接木をして、両言語の木が伸びた子どもほど、高校最終学年で成績も良くなるそうです」。

ここで、片岡名誉教授が、子どもの年齢と滞在期間による言語力の目安について説明。両親または片親が日本語のネイティブスピーカーで高校までの教育を日本で受けていること、家庭言語が日本語であること、就学年齢の子どもが現地校と日本語学校に通っていること、言語習得には個人差があること、を前提として、具体的なケースを紹介した。「例えば、小学校低学年（6～8歳）で渡米すると、個人差はあっても、ある程度のハイレベルな日本語力があるはず。アメリカの現地校では英語力がないので苦労しますが、日本で小学校に行っていた経験から、現地校に溶け込みやすいです。ESLのクラス等、学校での英語の補助は最初の2年程度必要です」。ケースは、年齢（乳児、幼児、小学校低学年、小学校高学年）と滞在期間（短期：3年前後、中期：4～6年、長期：6、7年以上）別に、細かく12タイプに分けて説明がなされ、参加者は熱心にメモを取っていた。

日本語補習校に期待すること 子どもたちへの支援

続くトピックは、バイリンガル教育において、日本語補習校に期待できること。片岡名誉教授によると、国語、算数、理科、社会などの教科を日本語で教えてもらえること、また運動会などの行事を通じて日本の学校文化を知れることはメリットだという。「ただし、日本語力の伸長、日本の学習文化、語彙、文法といったものは、補習校での勉強や家庭での会話だけでは身に付きません。例えば、算数の問題に知らな



当日はJBA会員とその家族、そしてあさひ学園の保護者など、約120名が参加した。

い言葉や複雑な文章が出てくると、意味が分からない子どもはここで引っかかってしまう。これは算数ではなく日本語力の問題です。また日本の学校ではどう振る舞うべきかなども、アメリカ生活が長い子どもほど、日本語力の有無にかかわらずズレが生じて苦労することがあるので、補習校で指導してもらえるとよいですね」と述べた。

さらに、バイリンガルの環境で起こりうる子どものストレスや負担にも言及。「子どものストレスの兆候には、鉛筆に歯型がついている、食欲不振、怒りっぽい、家で話をしなくなる、円形脱毛症などさまざま。子どもは大人にはなかなか思いを表現できないので、こういった兆候を見逃さないようにしてください」（ダグラス教授）。「ぜひお子さんが日頃から感じていることを言いやすい環境や、息抜きの時間や場所を作ってください。また、お子さんと同じような環境で育った日本人（日系人）の大学生など、アメリカでの学校生活や学習へのアドバイスができる人に支援をお願いするのも手です。何よりも、親御さんが、子どもがどんな学校生活を送っているのか、常に関心を持つことが大切です」（知念准教授）。

その後行われた質疑応答では、多くの参加者から質問が寄せられ、約2時間におよぶセミナーは盛況のうちに終了した。

新任の車の手配は面倒だと聞いた。間違いだった。

社用車からご家族のお車までガリバーにご相談下さい。日本企業ならではの細やかさでお応えします。

**低金利ローン
& 保険**

新規赴任者向けのプログラムを大手保険会社と連携実現。

**日本でやりとり
すぐに乗れる**

事前にメールでやりとりして渡米してすぐに車に乗れます。

**あんしんの保証
サポートも万全**

プレミアム 1年保証で購入後に発生した修理代金を保証。

高額買取
いたします

売却もガリバーへ

買取累計
13,000台

アメリカでも、中古車選びは
ガリバーへ

お問合せ **Torrance / Los Angeles / Orange County**
1-800-783-0271 法人窓口：大塚・佐藤まで
 24H オンライン受付



「私は入社してまだ半年で、ミキサーには初参加です。こうしたJBAのイベントに参加することでいろいろ勉強できればと思い、参りました」(PACIFIC GUARDIAN LIFE INSURANCE COMPANY LIMITEDの久保さん)、「昨年10月の渡米でまだ間もないため、生活する上での知恵やヒントと、今後のビジネスでつながっていただけるような人脈を得るために参加しました」(HAYAKAWA USA CORPORATIONのツルミさん)。

企画マーケティング部会

タスティンの 本格派BBQレストランで ミキサーを開催!

去る2月21日、タスティンのBBQレストラン「Lucille's Smokehouse BBQ」で異業種交流会(ミキサー)を開催した。同店は、南部の本格派BBQが味わえる人気店。この日に参加した約50名は、大ぶりなリブやチキン、プリズケットなど同店自慢の料理に舌鼓を打ちながら交流会を楽しんでいた。(お名前は左から)



「日頃はサウスベイ地域でのミキサーに参加しており、あまりオレンジ・カウンティに来ることはありません。この機会にいろいろな業種の方と名刺交換をさせていただき、お知り合いになれば幸いです」(KDDI America, Inc.の岡さん)、「今回は2回目の参加なのですが、前回のミキサーで他業種の方とたくさんお話ができ、刺激を受けることができました。今回もそれを期待しております」(ShinMaywa (California), Ltd.のユハラさん)。



「公私ともに新しい人間関係が生まれたり、いろいろな方とのつながりができたりすればいいなと思い参加しました。弊社のクライアント様にもご挨拶できればと思います」(KEY INTERNATIONAL, INC.のハンナさん)。

「オレンジ・カウンティの企業の方と親交を深めるために参加しました。ミキサーは初参加なのですが、せっかくなのでビジネスだけでなくプライベートでも人脈が広がればと思います」(TOSHIBA AMERICA CLIENT SOLUTIONS, INC.の菅野さん)、「日本経済の成長に向けて日系企業同士が協力し、日本の発展に寄与できるような人脈作りを願っています」(同社の野田さん)。



「私は昨年9月に渡米したばかりで、弊社はまだJBA会員ではないのですが、幸いにも今日はご紹介を受けて参加させていただきました」(ECO TOWN USA INC.の山崎さん)、「初めてのミキサー参加です。今日はJBAに加入されていない会社の方をお連れしましたが、そうした方とたくさんお会いして、JBAをご紹介できればと思っています」(NIPPON EXPRESS USA, INC.の村木さん)。



「普段お会いできないような方々とお話することで、見識を深めることができたいと思います」(Seeknet USAのイナガキさん)。



「ネットワークを広げて新しいビジネスチャンスを見つけるだけでなく、私はまだ働いて1年未満ですので、いろいろな方とお知り合いになればいいと思います」(TOP Los Angelesの栗原さん)、「普段はサウスベイエリアのミキサーに参加しており、オレンジ・カウンティは初めてです。こちらで活躍されている企業の方との新しい出会いを期待しています」(SoftBank Telecom America Corp.のデレオンさん)。

21241 S. Western Ave., Suite 200
Torrance, CA 90501
Tel: (310) 320-2700 Fax: (310) 320-4630
✉ sboffice@knllp.com

<http://www.knllp.com>



Kakimoto & Nagashima

A Division of SingerLewak

会計監査・会計全般
税務全般(企業、個人)
会計アウトソーシング
コンピューターコンサルティング
経営コンサルティング

日本人スタッフによる信頼できるサービス



「企業同士のネットワークを広げるとともに、現地に根付いている日本人や新しく来られた駐在員の方々と生活の情報交換ができればと思います」(KDDI America, Inc.の石井さん)、「仕事というより、アメリカで活躍されている方々と新しい関係を作るために参加しました。直接ビジネスに関連してなくても、今後いろんな場面でつながっていったらと思います」(Seven Corners Insurance Solutions Inc.の相馬さん)。



「私は北カリフォルニアに長く住んでいたため、JBAのイベントには初参加です。人脈づくりで参りましたが、北カリフォルニアにはこういうイベント自体が少ないので、とても有意義です」(Kura Sushi USA, Inc.のシノハラさん)、「最近、日系企業の方とお会いすることが減ってきておりますので、こういう機会にお会いすることで、日本の企業動向や国内事情、在米日系コミュニティの様子などいろいろお話が聞くことができ充実しています」(BancWest INVESTMENT SERVICESのナガイさん)。



「オフィスがロサンゼルスダウンタウンにあり、オレンジカウンティに来ることが少ないため、OCのお客様や地元企業の方にお目にかかりたいと思い参加しました」(TOP Los Angelesの平澤さん)、「いつもはサウスベイエリアのミキサーに参加しておりますが、今回は弊社のアーバイン支店の担当者と一緒に来ました。サウスベイと同じく、たくさん日系企業の方とお会いできて有意義です」(Relo Redac, Inc.の池田さん)。

会場の様子



日頃なかなか出会うことができない異業種の人と話ができるミキサー。ビジネスはもちろん、プライベートでの人脈も広がる可能性があるのが魅力だ。

新入会企業紹介

皆様と情報交換や交流させていただきながら、北米市場におもてなしを提供していきたいと考えております。

高橋宏幸さん



01

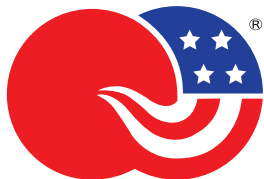
tele-net America Corporation

DATA

住所：19800 MacArthur Blvd., Suite 300 Irvine, CA 92612
 ☎ 844-370-7222
 Web：www.tele-net-america.com
 責任者：高橋宏幸 (CEO)
 従業員数：3人
 他の営業拠点：日本 (東京、福岡、徳島など)、フィリピン

tele-net America は、東京都新宿区を本社とする創業 25 年の株式会社テレネットの米国法人として設立。日本ならではの気遣い・心遣いを込めたおもてなしを特徴とする英語によるコールセンターサービスを提供しており、機械対応を行わない 100% 人による対応を行っている。おもてなし品質十人の直接対応により「顧客満足度のアップ」「企業価値の向上」「巧みなトークによるクレーム客の購買顧客への転換」などを実現し、クライアント企業の売上を上げることをミッションとしている。

北川 & イベート法律事務所



KITAGAWA & EBERT, P.C.
(949)788-9980 日本語でどうぞ。
www.JAPANUSLAW.COM

With Lawyers Licensed in Multiple States Including
CALIFORNIA • TEXAS • NEW YORK • GEORGIA • NEVADA • U.S. PATENT • WASHINGTON DC
 北川・イベート両弁護士ともにMartindale-Hubbell Peer Reviewにおいて“AV PREEMINENT” (法的能力・道徳性) 評価

WALL STREET JOURNAL, Chicago Tribune, Los Angeles Times 弊社勝訴が各誌にて紹介

必勝・難題解決のプロ・良心的

- 訴訟・仲裁・裁判・債権回収
- 契約法・ビジネス取引・流通
- 雇用法・残業・セクハラ・RIF
- 資産売却・M&A・無税法人再編成
- 不動産・リース・建設・売買
- 税務争訟・遺産・相続

北川 リサ 美智子 弁護士 京都大学法学修士 東京大学法学研修
 CALIFORNIA, TEXAS, NEW YORK, GEORGIA 連邦最高裁判所認可弁護士

(MAIN) 300 SPECTRUM CENTER DR. SUITE 960, IRVINE, CA 92618-4998
 (TEXAS) (BY APPT.) 5851 LEGACY CIRCLE, 6TH FL., PLANO, TX 75024

各部会からのお知らせ

教育文化部会

「親子で楽しむヨガ教室&交流会」を開催しての振り返り

文：SoftBank Telecom America Corp.・池嶋ゆいさん

3月3日(日)、トーランスで「親子で楽しむヨガ教室&交流会」が開催されました。小雨のなか、就学前の子どもたち12人を含む合計25人の参加者が集まりました。

今回はただのヨガではなく、「親子ヨガ」。講師の末吉恵美先生がヨガのポーズを子どもでもできるように楽しくアレンジしてくださいました。「あそこにヤシの木があるよ〜。実を取れるかな?」「砂山に砂をかけて、どんどん大きくしていきましょう〜」など、比喩を駆使したやさしい説明により、ほとんどの子どもたちが一緒にポーズを取ることができていました。イマジネーションを働かせながら一緒にポーズを取る子どもたち、とてもかわいかったです。また親子で一緒にポーズを作るものもあり、親子の絆が深まるような気がしました。

休憩をはさみ、後半はソーシャルワークや日本語教育支援をしている田邊美樹子先生の周りに円陣を作り、交流会のスタート。自分について「1つの嘘と2つの真実」を伝え、どれが嘘かを当ててもらおうというアイスブレイクから始まりました。精神を健康



子どもにヨガのポーズを理解してもらうための塗り絵。



親子で一緒にヨガポーズに挑戦!

に保つために役に立つ「Coping Tools」(息抜き法)ということで、短時間で気持ちが楽になるためのヒントをいろいろと教わることができました。ヨガやグループに参加する、というのも立派なCoping Toolの1つ。今回参加された皆様の心が少しでも軽くなったのなら幸いです。最後は時間いっぱいまで参加者同士で語り合い、たくさんのお話が合ったのではないかと思います。ヨガ教室は初の試みではありましたが、「非常に楽しめた」「子どもがすごく喜んでいた」という声を多くいただきました。会場を出ると、雨がやみ、気持ちのよい青空が広がっていました。最高の気分で日曜日を過ごしたい方、ヨガはおすすめです!

ダウントウン地域部会

「マジックキャッスル訪問」に参加しての感想文

文：H.I.S. INTERNATIONAL TOURS (NY) INC.・小竹寿英さん

去る2月に行われた、マジックキャッスルのイベントに参加しました。ハリウッド・ドルビーシアター裏手にある雰囲気のある建物は以前から気になっていましたが、館内に入るための合言葉で扉が開く、というところから盛り上がります。皆、正装で来られるのでとても雰囲気があり、食事もとても満足できる内容。他のJBA会員の方と交流する機会もとても楽しかったです。

マジックの内容についてはマジシャンが随時変わっているようですが、150名くらいのホールでやるマジックはステージと距離が近いにもかかわらず、トリックが分か



マジックキャッスルの外観。



ホテルが併設されており、宿泊も可能です。

らないまま、ショーに引き込まれてしまいました。女性が箱に入って箱を分断するマジックは、いまだにトリックが分かりません。参加者のボランティアを募ってショーを盛り上げるなど、エンターテインメントを実感できました。館内はいくつかホールに分かれていて、時間によってマジシャンのショーが決まっており、夕方から夜の2時まで楽しめるようです。また、バーカウンターもあり、ここでもマジックを見せてもらえるチャンスもありました。ギフトショップも入り口付近にあり、良い思い出作りができます。

マジックキャッスル会員限定の施設と聞いていたので、とても貴重な機会を頂けて感謝しております。また来年も機会があれば今度は蝶ネクタイをつけて参加しようと思います。

ダウントウン地域部会

「ジェネシスオープン」観戦を開催しての感想文

文：KPMG LLP・小島秀晴さん

2月17日にダウントウン地域部会主催のジェネシスオープン(ゴルフ大会)観戦ツアーを開催しました。開催コースは、The Riviera Country Clubで、サンタモニカ近く、パシフィックパリエーズの高級住宅街にあり、緑に囲まれた素晴らしいコースです。そんな素晴らしい環境の中で、フィル・ミケルソン選手、タイガー・ウッズ選手、松山英樹選手ら有名選手の迫力あるプレーを、息が聞こえるくらい間近で見ることができ、素晴らしい体験でした。

木曜日から始まった大会は、予選初日木曜、2日目金曜と天候が悪くプレーが中断。スコアを崩す選手が多く、その結果、3日目、最終日4日目に1日18ホール以上のプレーを強いられる選手が多く大変そうでした。しかし有名選手はほぼ予選を通り、JBAのイベントであった最終日日曜にプレーを見ることができました。

最終日、時々雨が降る中、前日分含め



ゴルフ観戦ツアー参加者で揃って記念撮影!

27ホール以上残っていた選手が多く、早朝からプレーが始まり、クラブハウスツアーが始まる午前9時には、大分多くの選手がプレーしていました。プレー開始が早まったためか、クラブハウスツアーのチケット購入者40名のうち、参加されたのは24名ほどでした。ツアーのご案内は今年もJBA ダウンタウン地域部会員であり、The Rivera Country Clubの寺嶋様にさせていただき、さらに今年はおもう1人、ゴルフコンサルタントの山本様にもツアーの案内をしていただき、ゴルフに関するいろいろなお話を伺うことができました。クラブハウスの1階の一般の人が入れない廊下にある歴代の大会優勝選手の顔写真展示スペースで立ち止まってミケルソン選手等の写真をじっくり見学している時に、我々の間を抜けるように本物のミケルソン選手が颯爽と通り抜けた時は、大興奮でした。クラブの長い歴史やツアー開催の裏話等は大変興味深く、また、NHKの中継車にも入れてもらいました。

試合は最終日夕方までに無事終わり、18ホール以上回った選手が多く、長い1日の最後には優勝争いに動きがありました。J.B.ホームズ選手が初優勝を飾りました。

オレンジカウンティ地域部会

「クッキングクラス」に参加しての感想文

2月24日の日曜日、週末の早い時間にもかかわらず、食いしん坊の私ははりきってオレンジカウンティ地域部会主催のクッキングクラスに参加しました。クラスはUCIのレクリエーション施設内にあるARCキッチンで行われました。30名以上の参加者は4～5人ずつのグループに分けられ、それぞれのテーブルには包丁、まな板、ボウルなどの必要な調理器具が用意されていました。

1品目は「リゾットのコロケ モッツァレラチーズとカリカリ生ハム入り」を作りました。最初にリゾットを作り、冷めたら炒めておいた生ハムとチーズを中に入れて丸めて形を作りフライするという、なかなか手の込んだ一品でした。2品目は「胡麻クリスプ サーモンのタルタル添え」でした。サーモンを細かく叩いて他の調味料と合わせ、冷蔵庫で冷やします。その間にワンタンの皮に胡麻を振ったものをオーブンでカリカリになるまで焼きます。焼き上がったワンタンに、冷やしておいたサー

モンのタルタルと生クリームを混ぜ合わせたものを添えました。3品目は「牛肉とマッシュルームのバイ包み焼き」。みじん切りにしたマッシュルームとタマネギを炒めたものに、一口大に切ったステーキを載せ、パイシートに包んで焼きました。最後はデザート「イチゴのチーズケーキ ホワイトチョコレートディップ」でした。イチゴの中身をくりぬぎ、甘みを付けたクリームチーズを注入してホワイトチョコレートにディップし、仕上げに砕いたグラハムクラッカーを振りかけます。冷蔵庫でチョコレートが固まるまで冷やして出来上がりです。

途中、どうなることかと心配な場面もありましたが、なかなかおいしく出来上がりました。見た目も良く、お客様をお招きするときにはぴったりのお料理だと思いました。メニューを見たときは、私が普段決して作ることもないお洒落なお料理でハードルが高かったのですが、材料は用意されており、先生のお手本を前方のモニターで確認しながらの作業でしたので、思った



料理教室の会場の様子。



「リゾットのコロケ」、おいしく作れました!



料理教室の参加者全員で記念撮影!

よりスムーズに進みました。同テーブルのメンバーにも恵まれ、協力し合いながら楽しく調理を進めることができました。分かりやすく教えてくださった講師の方、通訳をしてくださったスタッフの方、テキパキとお手伝いをしてくれたUCIの学生さんに感謝します。ありがとうございました。

あさひ学園だより

3月の卒業式と4月入学式について

文：あさひ学園事務局

3月上旬、各校にて2018年度卒園・卒業式を行いました。幼稚部、小学部6年、中学部3年、高等部2年の合計約310名の子どもたちが大きな節目を迎えるに至りました。総領事館からは4名の領事に臨席いただき、祝辞を頂戴しました。JBAからは大川会長(当時)が参列くださり、子どもたちの巣立ちを見守ってくださいました。本年は創立50周年を迎え、記念すべき卒園、卒業式となりました。

また、4月6日には新年度の始業式、翌週13日には入園・入学式を行います。幼稚部は2月の検査で約80名の入園が決まり、新小学1年生は、検査で新たに入学する子どもたちと幼稚部からの在校生を合わせた約145名の入学を予定しています。2つの言語で学習をする子どもたちにとって充実した学校生活を送れるよう、補習授業校として最大のサポートを行ってまいります。



幼稚部の卒園式の様子。



高等部の卒業生が集まって記念撮影。

4/5月のJBAイベントカレンダー

4/23 (火)

第218回ビジネスセミナー

企画マーケティング部会

5/5 (日)

海外子女教育振興財団主催
「海外学校説明会・相談会」

教育文化部会

4/27 (土)

マンザナー収容所跡巡礼バスツアー

ダウンタウン地域部会

5/19 (日)

TANAKA FARM いちご狩りツアー

オレンジカウンティ地域部会



※各イベントの詳細は、JBAウェブサイトをご覧ください。


新入会員

Prudential Financial, Inc.
Toll Group

3530 Wilshire Blvd., Suite 1360, Los Angeles, CA 90010
2000 E. Carson St., Carson, CA 90810

☎ 626-221-8998
☎ 562-283-8579

スタート・パシフィック



日系不動産仲介企業のリーディングカンパニー

海外への進出企業を一括サポート

もちろん、個人の住宅もサポート

海外への進出企業を一括サポート

オフィスや倉庫、工場などのリースから、社員用住宅まで不動産に関する事は、お気軽にご相談下さい。

スタートは東証一部上場。L.A.店は1989年設立。営業所はオールド・トランスにごさいます。いつでもお気軽にお立ち寄りください。日本人スタッフがお待ち致しております!

オフィスや倉庫、工場から、社員用住宅まで、日系企業様の不動産ニーズに即したサービスを高いレベルで提供いたします。飲食店のご相談もどうぞ。

ご自宅の購入・売却から、賃貸物件の管理までお任せ下さい。投資や節税に関するご相談も無料で受け付け中です。ご帰国時の日本でのお住い探しもご相談下さい。

●ロサンゼルス店:
TEL (310)782-7877
1219 El Prado Ave., Torrance, CA 90501
info@startsla.com
www.starts.co.jp/la

●ニューヨーク店:
TEL(212)599-7697
www.startsnewyork.com

●サンゼ店:
TEL(408)380-2499
www.starts.co.jp/sanjose

●スタートコーポレーション株式会社:
TEL (03)6202-0111(代表)
〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-10
スタート八重洲中央ビル
www.starts.co.jp

●ハワイ店:
TEL(808)947-2280
www.startshawaii.com

●ダラス店:
TEL(646)708-6194
www.kaigai.starts.co.jp/dallas

パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム 米国駐在員のための金融サービスパッケージ

- ・渡米前に日本からの口座開設が可能
- ・便利な日本語コールセンター (Union Bank®*1・ジャパニーズ・カスタマーサービスユニット)
- ・ご帰国後の口座管理にも便利

まずは日本語コールセンター **1-888-507-7669** (フリーダイヤル・日本時間にも対応)までお問い合わせください。



A member of MUFG, a global financial group

*1 法人名の邦訳：ユニオンバンク

©2018 MUFG Union Bank, N.A. All rights reserved. Member FDIC.

Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N.A. Visit us at unionbank.com/japanese.